

第2回

新町の名称に関する専門委員会

会議資料

南部町・南部川村合併協議会

日時：平成15年1月15日(水)

場所：南部町役場 2階 研修室

第2回新町の名称に関する専門委員会

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 議 題

協議事項

協議第1号 新町の名称候補の選定方法について（継続協議）

4. その他

5. 閉 会

新しい町の名称候補の選定について

第1回専門委員会での意見（抜粋）

一般公募することについて

- ・ 全国公募というのはこの地域ではなじむものなのか？
- ・ 南部や南部川を知らない人になぜ名前をつけてもらわなければいけないのか。南部・南部川村の住民につけてもらう方が良い。
- ・
- ・ 公募をするか。しないのか。するとしたら町村内限定でか。
- ・ 町村民だけの公募でよいと思う。
- ・ 公募の結果は名称決定の参考程度としては。数での決定はどうかと思う。
- ・ 名称の候補を挙げてアンケート方式にしては。
- ・ アンケートでは、町でよいかどうか丸をつけてもらって。どうしても別の名前という人は書き込んでもらって参考意見にしては。

南部（みなべ）の名前について

- ・ この合併は南部（みなべ）という名前を大事にしようということ。
- ・ 南部のブランドがある。みなべの梅、南部の魚（南部の太刀魚、南部の鰹）
- ・ 歴史的にも大庄屋時代から南部組何ヶ村と言われてきたんやから。
- ・ 南部川村の晩稲にある梅林を「南部梅林」と呼ぶ、歴史的なこともあって南部と呼ぶのに何の抵抗もない。
- ・ どこへ行っても「南高梅の南部」という、南部川の川までは言わない。
- ・ 南部の名前を残すことに異存はない。
- ・ 漢字だったら「なんぶ」とつい読まれるから、ひらがなの「みなべ」を若い人は望んでいると思う。

参考：名称候補選定のフロー図

